

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月11日(木)

事務事業		こども青少年課補助・連絡調整事務		担当課	岡部市民生活課	担当係	福祉係	管理番号	21221
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等	児童手当法 深谷市こども医療費支給に関する条例 深谷市ひとり親家庭等医療費支給に関する条例 等				
	小項目	4	行財政運営の推進						
	主要プロジェクト								
事業概要		市民のかたを対象にこども・ひとり親医療事務・児童手当現況届受付等の窓口業務及びこども青少年課との連絡調整・取り次ぎを行うことにより、安定した行政サービスを提供するものである。 なお、児童手当現況届受付業務は、児童手当制度改正により令和4年6月以降、現況届が原則省略され、当該業務がこども青少年課のみに変更されたため令和4年度以降は、総合支所での業務はない。							
目的 ※何のために		申請者の利便性の向上のため							
対象 ※誰・何を対象に		市民の方							
手段 ※どのように		こども・ひとり親医療事務、児童手当事務などこども青少年課との連絡調整・取り次ぎを行う。							
成果 ※何を求めるか		児童福祉の推進を図る。							
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・こども医療費、ひとり親医療事務					・		
		・児童手当現況届受付業務(令和4年6月以降は業務なし)					・		
		・こども青少年課との連絡調整					・		
		・					・		
		・					・		
		・					・		

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
人件費	従事職員数(人)	0.49	0.49	0.54	0.54	0.54	
	人件費相当試算※	3,856,083	3,924,981	4,440,011	4,577,631	4,756,584	
総事業費試算		3,856,083	3,924,981	4,440,011	4,577,631	4,756,584	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	こども医療費申請受付件数	目標値	件							
		実績値		602.00	373.00	425.00	351.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は設定になじまないため設定せず。 / 受付件数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	ひとり親医療費申請受付件数	目標値	件							
		実績値		282.00	354.00	360.00	340.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は設定になじまないため設定せず。 / 受付件数							
	実績値の算出式									
活動指標 3	児童手当関係受付件数	目標値	件							
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所		児童手当関係受付件数（令和4年度以降本庁集約）							
	実績値の算出式									
成果指標 1	事務誤り件数	目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00			
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		誤りのない事務処理を目指し、目標値を0とした。 / 事務誤り件数							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和7年度のこども医療費は351件で、前年度の425件と比較して74件減少した。また、ひとり親医療費は340件で、前年度の360件と比較して20件減少した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	各医療費の受付事務においてこども青少年課との連携により各種業務を行い、日頃から接遇マナーの向上に努めてきたこととで窓口対応や相談でのトラブルはなく円滑に業務ができた。
			評価者 福祉係長 関根 貴恵

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	こども青少年課からは、事務取扱いに変更が生じた場合に適時、連絡・説明が行われ、係内で業務の効率性や執行体制の統一が図られ、各種業務を円滑に行うことができた。
			評価者 福祉係長 関根 貴恵